

平成 16 年 7 月 8 日

コンクリート強度試験成績書

石黒建設株式会社 殿

工事名 東亜システム (株) 社屋新築工事

日本工業規格表示認定工場 No. 472032
 名東生コン株式会社 本社工場
 (〒463-0033) 名古屋市守山区森孝東二丁目410番地
 TEL <052> 771-1201
 FAX <052> 771-9775



品質御指定事項

呼び方	コンクリートの種類による記号	呼び強度	スランプ	粗骨材の最大寸法による記号	セメントの種類による記号
	普通	30	15	25	N
指定事項	軽量コンクリートの単位容積質量	- kg/m ³	空気量	-	%
	コンクリートの温度	- °C	混和材料の種類	-	
	呼び強度を保證する材齡	- 日	アルカリ骨材反応抑制対策の方法	A	
	水セメント比の上限値	- %	単位セメント量の下限值又は上限値	-	kg/m ³
	単位水量の上限値	- kg/m ³	塩化物含有量	0.30kg/m ³ 以下	
	流動化後のスランプ増大量	- cm			
供試体製作年月日	平成 16 年 07 月 06 日		供試体養生方法	屋外空中	
強度試験日	平成 16 年 07 月 08 日		試験材齡	2日	

上記条件のコンクリート強度試験成績は下記の通りであります。

供試体番号	実測値			最大荷重 KN	圧縮強度 N/mm ²	平均強度 N/mm ²	摘要欄
	スランプ (cm)	空気量 (%)	コンクリート 温度(°C)				
60	15.0	4.5	32	127	16.2	15.9	1回目
166				120	15.3		
256				128	16.3		
46	16.0	4.0	33	115	14.6	14.7	2回目
181				116	14.8		
413				115	14.6		

平均供試体寸法 (cm) (φ10×20 圧縮)

【担当者】河合 逸希

打設場所：基礎

備考：

平成 16 年 7 月 13 日

コンクリート強度試験成績書

石黒建設株式会社 殿

工事名 東亜システム(株) 社屋新築工事

日本工業規格表示認定工場 No. 472032

名東生コン株式会社 本社工場

(〒463-0033) 名古屋市守山区森孝東二丁目410番地

TEL <052> 771 - 1201

FAX <052> 771 - 9775



品質御指定事項

呼び方	コンクリートの種類による記号	呼び強度	スランプ	粗骨材の最大寸法による記号	セメントの種類による記号
	普通	30	15	25	N
指定事項	軽量コンクリートの単位容積質量	— kg/m ³	空気量	— %	
	コンクリートの温度	— °C	混和材料の種類	—	
	呼び強度を保証する材齢	— 日	アルカリ骨材反応抑制対策の方法	A	
	水セメント比の上限値	— %	単位セメント量の下限值又は上限値	— kg/m ³	
	単位水量の上限値	— kg/m ³	塩化物含有量	0.30kg/m ³ 以下	
	流動化後のスランプ増大量	— cm			
供試体製作年月日	平成 16 年 07 月 06 日		供試体養生方法	標準20±2°C水中	
強度試験日	平成 16 年 07 月 13 日		試験材齢	7日	

上記条件のコンクリート強度試験成績は下記の通りであります。

供試体番号	実測値			最大荷重 KN	圧縮強度 N/mm ²	平均強度 N/mm ²	摘要欄
	スランプ (cm)	空気量 (%)	コンクリート 温度(°C)				
167	15.0	4.5	32	204	26.0	26.5	1回目
398				211	26.9		
39				209	26.6		
439	16.0	4.0	33	196	25.0	25.1	2回目
6				198	25.2		
160				196	25.0		

平均供試体寸法(cm) (φ10×20 圧縮)

【担当者】河合 逸希

打設場所：基礎

備考：

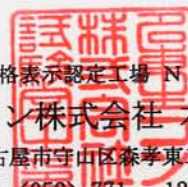
平成 16 年 8 月 3 日

コンクリート強度試験成績書

石黒建設株式会社 殿

工事名 東亜システム (株) 社屋新築工事

日本工業規格表示認定工場 No. 472032
 名東生コン株式会社 本社工場
 (〒463-0033) 名古屋市守山区森孝東二丁目 4 1 0 番地
 TEL <052> 771 - 1201
 FAX <052> 771 - 9775



品質御指定事項

呼び方	コンクリートの種類による記号	呼び強度	スランブ	粗骨材の最大寸法による記号	セメントの種類による記号
	普通	30	15	25	N
指定事項	軽量コンクリートの単位容積質量	— kg/m ³	空気量	— %	
	コンクリートの温度	— °C	混和材料の種類	—	
	呼び強度を保証する材齢	— 日	アルカリ骨材反応抑制対策の方法	A	
	水セメント比の上限値	— %	単位セメント量の下限值又は上限値	— kg/m ³	
	単位水量の上限値	— kg/m ³	塩化物含有量	0.30kg/m ³ 以下	
	流動化後のスランプ増大量	— cm			
供試体製作年月日	平成 16 年 07 月 06 日		供試体養生方法	屋外水中	
強度試験日	平成 16 年 08 月 03 日		試験材齢	28日	

上記条件のコンクリート強度試験成績は下記の通りであります。

供試体番号	実測値			最大荷重 KN	圧縮強度 N/mm ²	平均強度 N/mm ²	摘要欄
	スランブ (cm)	空気量 (%)	コンクリート 温度(°C)				
262	15.0	4.5	32	280	35.7	35.8	1回目
236				287	36.5		
170				276	35.1		
100	16.0	4.0	33	277	35.3	34.9	2回目
367				270	34.4		
89				275	35.0		

平均供試体寸法 (cm) (φ 10×20 圧縮)

【担当者】伊里 徳顕

打設場所：基礎

備考：